

俳句の会「芦火」

☆柑蘆同人誌「芦火」第730号（令和六年十二月号）表紙

- ・冬の季語：「冬薔薇（ふゆばら、ふゆそうび）（三冬・植物）」
- ・来月号（十二月号）の兼題



<冬薔薇> （子季語：寒薔薇、ふゆばら）

冬にも咲く薔薇のこと。あらかた葉を落として、二つ三つ小ぶりの花をつける姿を目にすると、わびしい思いを禁じえない。

有名俳人の句を紹介します。

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| 冬薔薇石の天使に石の羽根    | 中村草田男 |
| 冬薔薇色のあけぼの焼跡に    | 石田波郷  |
| 冬薔薇のつぼみやさしく尖りたる | 沢木欣一  |
| 冬薔薇や賞与劣りし一詩人    | 草間時彦  |
| 冬薔薇を選びみるなり見守られ  | 千葉皓史  |
| 冬薔薇鉛筆の線かたく光る    | 津川絵理子 |
| 冬薔薇を揺らしてみたり未婚の指 | 日下野由季 |
| 汝が眼に映れとつぼむ冬薔薇を  | 細見綾子  |
| 筋通す女なりけり冬薔薇     | 小熊春江  |

\*\*\*\*\*

☆高得点者および高得点句

\*前月の清記表に記載された13名の84句のなかから互選の結果、以下の同人が高得点者となりました。併せて高得点句も掲載します。

<高得点者(敬称略)>

18点 碧亥 13点 恵吾、12点 緑汀、10点 要・穂心、

<高得点句(4点以上)>

- ・ブレザーの胸張る見栄や敬老日／碧亥・・・・・・・・・・5点
- ・桐一葉落ちて湯治の隠れ宿／穂心・・・・・・・・・・5点
- ・そこいらの野菊手向けよ道祖神／勝・・・・・・・・・・4点
- ・手際よく梨剥く妻の指太し／碧亥・・・・・・・・・・4点
- ・少年の夢遥かなり青蜜柑／甲舟・・・・・・・・・・4点
- ・秋の風地蔵の顔の崩れけり／緑汀・・・・・・・・・・4点
- ・逍遙の哲学の道水澄めり／恵吾・・・・・・・・・・4点

\*\*\*\*\*

☆その他のトピックス

①「散歩道の自然～写真解説」：安本緑汀さん  
ストレリチア(極楽鳥花)



緑汀さんが一番大切にされている植物でご自身のお庭で栽培されているそうです。南アフリカが原産の植物で、ご自身で種子を直輸入され育てたものや、園芸研究家から株を分けて頂いたものもあるとのこと。

なお、「芦火」の紙面を華やかにして頂いた緑汀さんの「散歩道の事前～写真解説」も今回が最終稿ということでご挨拶がありました。

緑汀さん・・・永らく楽しませて頂きありがとうございました。

## ②「姫路支部総会に参加して」：平林 温州

- ・11月2日（土）に開催された姫路支部総会に神戸支部を代表して参加しました。
- ・出席者は会員14名（経済学部11名、教育学部2名）、来賓4名の総勢17名。  
 同人の北草炎さんは、当日から三日間市内で開催される年金者組合の「趣味の作品展」への作品搬入・展示のためにご欠席でした。
- ・姫路支部ではかねてより学部の垣根を越えて同窓会を開催されており、この度の総会も「和歌山大学同窓会 姫路支部総会」という看板を掲げられていました。  
 9月に開催された東京支部総会でも他学部のOB・OGが参加されており、同窓会も従来の柑芦会だけにとどまらず学部の垣根を越えたオール和歌山大学の同窓会として運営される機運になりつつあります。
- ・当日の総会は、支部長のご挨拶、来賓の挨拶、事業・会計・監査の各報告が承認された後は、大学時代にクラブ活動として自動車部に所属していたお二人が「自動車部の思い出」というタイトルで講話をされました。  
 講話では、ラリーの練習中に38メートルの崖下に転落し、車は大破してスクラップになったものの、運転者および同乗者はかすり傷だけで済んだとか、普通では考えられないようなお話を披露して頂きました。
- ・講話の後は懇親会に移りましたが、支部会員の近況報告等があり、中には興味のそそられるお話もあり結構盛り上がりしました。中でも特に興味のあったものとしては教育学部出身のOGのお話でした。
- ・彼女のご意見では、今の学校教育は子供たちから考える力を削いでいる、嘆かわしいことだというものでした。いつからこのようになったのでしょうか。「ゆとり教育」のせい、あるいは「一番でなくても良い」という考えのせい、よくわかりませんが、いつの間にやら教育後進国になったような気がします。大変嘆かわしいことです。
- ・以上、姫路支部は少人数ながら中身のある総会運営をされていると思った次第です。



### ③同人の近況報告他

- ・後藤碧玄様より、体調不良により欠句の続いている史浩様宛にお見舞いの文章とともに次の句が送られました。

#### 句友てよう言の葉重し宵月夜

- ・山下勝様より近況報告、先の衆議院議員選挙の結果、次期アメリカ大統領に関する感想と共に、現在中断している「切り捨て御免」に代わるものとして、「できれば、各同人が、一句だけでも切り捨てる、または感想を述べる」ようにしてはどうかとのご提案がありました。このことによって「他人の評価は作者の見方を変える場合があるし、反論してもよいし、句力の向上につながれば」なおさら良いのではないかとされています。

- ・河本要様より近況報告がありました。  
尚、要様の次の俳句が、NHKラジオ文芸選評の俳句で星野高士選の兼題「霧」に選ばれたそうです。

#### 朝霧について市バスのやってくる 要

要様、おめでとうございます。

\*\*\*\*\*

#### <俳句の会「芦火」概要>

- ・会員は柑芦会会員
- ・現在の会員は大学3期卒から25期卒の13名
- ・昭和38年（1963年）結成・・・約60年の歴史
- ・会員の作句は通信俳句誌「柑蘆同人誌・芦火」に掲載され毎月各人に配付
- ・創刊以降毎月発刊。令和4年（2022年）6月に第700号発刊。
- ・50号ごとに句誌を発刊。令和4年5月に「芦火第14号句集」発刊
- ・創刊時からの延べ会員数、72名（高商32名、高商教授1名、大学39名）

#### <編集者・コンタクト先および会費>

- ・編集者：穂永 千秋（大学17期）（俳号：穂心）  
メールアドレス：[suishin2010@dream.ocn.ne.jp](mailto:suishin2010@dream.ocn.ne.jp)／携帯：090-9887-2513
- ・その他のコンタクト先：
  - ・山下 勝（大学14期・前編集者）（俳号：勝）  
メールアドレス：[yama723@nifty.com](mailto:yama723@nifty.com)／携帯：090-1349-6727
  - ・平林 義康（大学20期）（俳号：温州）  
メールアドレス：[hirabayashi9497@yahoo.co.jp](mailto:hirabayashi9497@yahoo.co.jp)／携帯：090-8525-7293
- ・会費：年会費1万2千円

以上  
(文責：平林 温州)